

### 最高のひみつ道具

ドラえもんを知らない日本人はいない、と私は思っている。そして誰もが一度はドラえもんの秘密道具を使う想像をしたことがある、はずだ。

先日、テレビ朝日の人気番組「アメトーーク」で「ドラえもんひみつ道具ドラフト会議」という企画を放送していた。ドラフトの結果は全く覚えていないが、自分だったら何を選ぶだろうかと思像し、ワクワクしながら観ていた記憶だけはあ

る。もしも、たった一つだけドラえもんのひみつ道具が使えるとしたら、みなさんは何を選ぶだろうか。先を読む前に、少しだけ想像してみてください。

実用性を考えると「どこでもドア」が人気を集めそうだ。通勤通学が一瞬で済んでしまうのはかなり魅力的。世界中どこでも行けるなら、地理の勉強が今よりもっと楽しくなるかもしれないし、英語の勉強も今よりもっと気合が入るかもしれない。

ロマンがあるのは「タイムマシン」だろう。過去にタイムスリップして本能寺の変の真相や龍馬暗殺の真犯人を突き止める。歴史がただの知識ではなく体験になったら、どんなに素晴らしいことだろう。ちゃっかり者なら未来にタイムスリップして



株で大儲けなんてことも出来てしまう。

想像すればするほど悩ましいが、もしも「どこでもドア」と「タイムマシン」を合体させたスーパーアイテムがあったとしたらどうだろう。想像してみしてほしい。まさに、最高のひみつ道具と言えのではないだろうか。

そのスーパーアイテムであるが、ドラえもんの世界だけでなく、実は現実の世界にも存在している。君たちも触れたことがある。それは、「本」だ。急にアナログになって拍子抜けしただろうか。しかし、本当に「どこでもドア」+「タイムマシン」=「本」なのだ。

本を読むことで筆者と一対一で対話することができ。自分がいる場所がどこでも問題なし。しかも、有名企業の社長、スポーツ選手、大学の教授、芸能人など、普段の生活で滅多に出会えない人の話が簡単に聴ける。過去の偉人とだつて対話ができる。



あなたが小説を読めば、世界中の、あらゆる時代の、あらゆる年代の、あらゆる職業の人の人生を疑似体験できる。通勤中のおじさんがアールプスの少女にもなれるし、ランドセルの少女が織田信長や坂本龍馬の人生を経験することもできるのだ。ね、すごいでしょ。

本は私たちの想像力を育んでくれる。読書は文字から情景を想像するトレーニングになる。想像力は創造力に繋がって、私たちが新たな未来に連れていってくれる。

また、様々な人の人生を経験することで他人の気持ちや想像できるようにもなる。人の気持ち

ちは天気と一緒に。過去のデータをもとに注意深く観察し、想像するしかない。読書を通じて想像力と忍耐力を鍛えれば、人間関係においても今よりもっと素敵な未来が待っていることだろう。本は私たちが過去に連れていってくれるだけでなく、未来へと導いてくれるのだ。

(高寺)

### 九十九才の母は非国民であった。

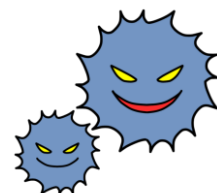
●①母は九十九才。九州の田舎の介護施設にいた。日中戦争・太平洋戦争のとき、教師をしていた。軍国教育が行われる中、消極的戦争反対者であった。学校でも村でも「〇〇くん、万歳のときは、口パク。米軍機の銃撃をうけ、生徒達を抱えて、やぶの中に逃げこむことも度々。ひたすら戦争が終わることを祈った。しかし、反戦の声をあげることにはなかった。職を失うこと、村八分にされること、そして逮捕されることを恐れたから。公然と



反対を訴える人は、非国民として迫害された。戦争が終わると、校長を始め教師達は「民主主義の使者」となった。地域のリーダー的な人達も見事に变身していった。そして、かつて村八分にされ、迫害された被害者に謝罪することはほとんどなかった。

●②バブル景気は一九九一年頃はじけるが、それまでの数年間、授業中にこんなことが時々あった。「先生、株やっている？」と生徒が質問。私が「やっていないよ。」と答えると、「先生、

バカじゃん。うちのお母さん、去年三〇〇万もうけたんだぜ。」保護者面談で自慢気にもうかつたことを報告される方もいらつしやった。「先生、社会も教えていらつしやるんでしょ。もつと経済のこと知らなきゃだめですよ。」忘れられない一言である。因みに、私はお金もなかったし、景気の危さも感じていた。



●③コロナウイルスが拡大している。つれあいや友人の仕事の関係から、衛生医療、介護等の情報は一般の人よりは多く手に入る。一例をあげると保健所は一九九〇年代後半の八五〇から現在の五〇〇弱まで減った。今も減り続けている。同じく一九九〇年代後半の病院の病床数は一六六万強で、二〇一八年一五五万まで減少している。今も減り続けている。

●④私の家は、祖父・母・弟との四大家族で生活保護を受けていた。村の人たちの一部からは、「人様のカネで生きていられるんだから、感謝しろ。」とよくいわれた。外でお菓子を食べていると「ぜいたくするな。」とどなられることもあった。その後、弟も私も働き、家庭をもち、生活保護費として給付された分のお金は十分にお返ししてきたと思う。世の中に不正受給は確かにあるが、一%にも満たない。セーフティネットとして十分に機能させるべき制度である。

●①④を通して何を言いたいかというと、国民全体としての「集団知」の危さと重要性である。●具体的に見ていこう。①では、かなりの人にとって、一連の戦争は「正しい戦争」であり、②では「株は上がり続ける」というのが相当の

人にとつての常識であり、③では病院や保健所が減り続けていることを知らないのが一般的であり、④では、「生活保護をうけることは恥ずかしいことだ」というのが通常のとらえ方であろう。この「正しい・上がり続ける・知らない・恥ずかしい」というのが、「集団」としての「知識」であるといえる。いや、「太陽は東から昇る」のような事実は、集団のほぼ全員が知っておりその正しさも明らかで、これも「集団知」と呼ぶならば、先述の例は「集団」としての価値判断を含まない知識」として定義するのが適切であろう。

●次号より、「集団」としての価値判断を含まない知識」としての「集団知」について考察を続けた。

(小林)

## 祝合格 二〇二〇年度入試

### 大学受験体験記

★H・Kさん 県立東葛飾高校

(進学先) 筑波大学人文・文化学群

(合格校) 早稲田大学教育学部

明治大学国際日本学部

学習院大学文学部

日本大学文学部

創学舎は集中する環境、質問しやすい環境が整っているため、家では分からないところとまってしまい、あまり勉強が進まない自分にとって最適な場所で、夏休みや冬休みは朝自習室に来て閉室ギリギリまで籠るといふ生活を送りました。週間計画表は自分のやるべき勉強を可視化できるため、科目の偏りなく勉強を進めて

いけました。また、問題集を何種類もやるのではなく、二種類を何周もやるという方法で、英文法は特に基礎が身につく、文法に対して苦意識を持つことなく受験期を終えることができました。国立二次日本史記述の対策では記述の勉強方法、添削だけでなくマンツーマンで授業をしていただきました。記述の勉強はセンター後から始めましたが、この対策のおかげでやることはやったという安心感のもと試験に臨めました。中学から六年間、生徒に親身になってくれる創学舎に通い続けてよかったです。本当にありがとうございます。

★S・R君 県立東葛飾高校

(進学先) 千葉大学工学部

(合格校) 東京理科大学理工学部

法政大学デザイン工学部

テキストが洗練されており、特に英語の構文はやれば確実に力がつくのでやるべき。また、副教材の進行状況を常に確認するシステムによって確実に力をつけられた。

授業を欠席したときのフォローが無料なもの

親切だと思う。しかし、そのためチューターが質問を受けられなくなることもしばしばあり、そこは不満だった。先生が重要なことを授業中に繰り返し言うことで心に深く残るためいい授業だと感じた。

★I・T君 県立東葛飾高校

(進学先) 明治大学法学部

まず八年間通わせていただいた創学舎の皆様には感謝の思いばかりです。なぜ通い続けたの

か考えてみると、不満はなかったの一言につきます。たしかに、テキストは手作り感がすごくて、見られるたびにクラスの人からかわれたことぐらいはありました。塾を変えた友人もいました。ただ自分が他を知らないだけかもしれないが、他を知らなくても十分に良いとわかるところがたくさんありました。面談は他より圧倒的に多く、しかも先生が聞いてくれるし、質問も忙しい中、先生に聞けば納得するまで説明してくれます。自分も何度、ある意味どうでもいいいめんどろな質問をしたものかわかりません。けれど、またわざわざ書くことでもありません。通つていけば誰かが分かるはずですが、自然に、何もできなかった私が、大学に行けるとまで行けたことだけでも創学舎のすごいところの証明だと言いたいです。



★A・T君 県立小金高校

(進学先) 明治大学総合数理学部

(合格校) 東京理科大学経営学部

青山学院大学経済学部

僕にとって一番印象に残っていることは、先生と生徒の距離の近さです。数週間に一回の面談はまさにその近い距離感を表していると思います。過去問が解けなくてメンタルが弱つていくとき、どうしてもやる気が出ないときなど、いろいろなこと相談のつてももらいました。また、授業も僕にとってはとても楽しく印象に

残りしました。まず集団でも気軽に質問できるといふのがうれしかったです。質問ができたおかげで分からない状態で終わることがほとんどありませんでした。また、授業の合間に雑談もあり先生方の話を聞くのも楽しかったです。そのため、ぼくは授業が憂鬱と感じたことがほとんどありませんでした。チューターの方も優しく、効率的な勉強方法を教えていただきました。三年間、創学舎で学ぶことができてよかったです。ありがとうございます。



★S・R君 県立小金高校

(進学先) 立教大学経済学部

(合格校) 東京学芸大学教育学部

東洋大学経済学部

獨協大学経済学部

ぼくは創学舎に中学のときからお世話になりました。創学舎のいいところは、先生やチューターとの距離が近いところだと思います。いつもリラックスして勉強に取り組むことができている結果が残せました。創学舎は勉強法として同じ教材を繰り返し返すという方針をとっていたのがとても良かったと思います。いろいろな教材をやると思い出しにくくなるのでこれから受験する人は気をつけてください。しかし、一つ注意することがあります。やるだけになってしまいう作業化するのは意味がないです。繰り返しやることはもちろん大事ですが常に効率の良さを追求してほしいです。受験頑張ってください。応援しています。